

平成 25 年 12 月 26 日
愛媛県県民環境部防災局危機管理課

愛媛県地震被害想定調査結果（最終報告）について

1. 被害想定の目的

- 本県に最大クラスの被害をもたらす地震の規模や人的、物的被害等の状況を明らかにすることにより、県や市町の地震防災・減災対策の基礎資料とし、事前の予防対策や地震発生後の応急活動体制の強化を図る。
- 併せて、具体的な被害軽減効果を示すことにより、県民の防災・減災に係る意識の向上を図り、自助・共助の取り組みを促進する。

2. 被害想定に用いた想定地震

(1) 想定地震の設定

愛媛県地震被害想定調査第一次報告で想定した、下記5つの想定地震における被害を推計した。

【海溝型地震】

- ① 南海トラフ巨大地震（基本、陸側、西側、東側の4ケース）
- ② 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側、南側それぞれ各2ケース）

【内陸型地震】

- ③ 讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部（中央構造線断層帯）の地震（2ケース）
- ④ 石鎚山脈北縁（中央構造線断層帯）の地震（2ケース）
- ⑤ 石鎚山脈北縁西部－伊予灘（中央構造線断層帯）の地震（2ケース）

3. 定量的な被害

上記想定地震による被害を推計した結果、本県に最大の被害をもたらす地震は、「南海トラフ巨大地震」となった。

(1) 季節・時間帯・気象条件の設定

建物被害、人的被害については、被害が異なる3種類の特徴的シーン（季節・時間帯）を設定した。

また、火災による被害は、過去12年間の気象データから、市町毎に風速（平均風速・強風）、風向、湿度を設定した。

【季節・時間帯】

冬深夜	<ul style="list-style-type: none"> ・多くが自宅で就寝中に被災するため、家屋倒壊による死者が発生する危険性が高く、また津波からの避難が遅れることにもなる。 ・オフィスや繁華街の滞留者や鉄道・道路の利用者が少ない。
夏12時	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスや繁華街等に多数の滞留者が集中しており、自宅外で被災するケースが多い。 ・木造建物内滞留人口は、1日の中で最も少ない時間帯であり、老朽木造住宅の倒壊による死者は冬の深夜と比べて少ない。 ・海水浴客をはじめとする観光客が多い。
冬18時	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅、飲食店などで火気使用が最も多い時間帯で、出火件数が最も多くなる。 ・オフィスや繁華街周辺のほか、ターミナル駅にも滞留者が多数存在する。 ・鉄道、道路はほぼ帰宅ラッシュ時に近い状態であり、交通被害による人的被害や交通機能支障による影響が大きい。

【気象条件】

風速 (m/s)	東予			中予			南予		
	冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時	冬深夜	夏12時	冬18時
平均	1.4~2.8	2.0~2.9	1.5~3.1	0.7~4.6	2.1~2.9	1.1~3.9	0.7~4.2	1.9~3.9	1.1~4.8
強風	3.7~6.9	4.0~5.5	3.7~7.5	2.8~9.9	4.4~6.1	3.1~9.5	2.8~9.9	3.8~10.3	3.1~10.3

(2) 津波による人的被害の推計における条件設定

津波による人的被害の推計に影響する津波避難意識の条件については、下記の通り設定した。

	避難行動別の比率		
	避難する		③切迫避難あるいは避難しない
	①すぐに避難する	②避難するがすぐには避難しない	
避難開始時間 (昼間)	発災 5 分後	発災 15 分後	津波到達後避難開始
避難開始時間 (夜間)	発災 10 分後	発災 20 分後	津波到達後避難開始
全員が発災後すぐに避難を開始した場合	100%	0%	0%
早期避難者比率が高く、さらに津波情報の伝達や避難の呼びかけが効果的に行われた場合	70%	30%	0%
早期避難者比率が高い場合	70%	20%	10%
早期避難者比率が低い場合	20%	50%	30%

(3) 被害想定項目

※黄色：定量的な評価を実施した項目

<p>1. 建物被害</p> <ul style="list-style-type: none">1.1 揺れによる建物被害1.2 液状化による建物被害1.3 土砂災害による建物被害1.4 津波による建物被害1.5 地震火災による建物被害1.6 津波火災による被害	<p>7. その他の被害想定</p> <ul style="list-style-type: none">7.1 災害廃棄物7.2 津波堆積物7.3 エレベータ内閉じ込め7.4 長周期地震動7.5 道路閉塞7.6 道路上の自動車への落石・崩土7.7 交通人的被害（道路）7.8 交通人的被害（鉄道）7.9 災害時要援護者7.10 震災関連死7.11 人工造成地による建物被害7.12 危険物・コンビナート施設被害7.13 大規模集客施設等7.14 地下街・ターミナル駅7.15 文化財7.16 孤立の可能性のある集落7.17 災害応急対策等7.18 ため池7.19 地盤沈下による長期湛水7.20 台風・高潮・集中豪雨による複合災害7.21 時間差での地震発生7.22 漁業施設7.23 治安7.24 重要施設7.25 原子力発電所7.26 農地被害（液状化・津波）
<p>2. 屋外転倒・落下物の発生</p> <ul style="list-style-type: none">2.1 ブロック塀・自動販売機等の転倒2.2 屋外落下物の発生	
<p>3. 人的被害想定</p> <ul style="list-style-type: none">3.1 建物倒壊による人的被害3.2 土砂災害による人的被害3.3 津波による人的被害3.4 火災による人的被害3.5 ブロック塀・自動販売機等の転倒による人的被害3.6 屋外落下物による人的被害3.7 屋内収容物移動・転倒、屋内落下物による人的被害3.8 揺れによる建物被害に伴う要救助者（自力脱出困難者）3.9 津波被害に伴う要救助者数・要捜索者	
<p>4. ライフライン被害</p> <ul style="list-style-type: none">4.1 上水道4.2 下水道4.3 電力4.4 通信4.5 ガス（都市ガス、LPガス）	
<p>5. 交通施設被害</p> <ul style="list-style-type: none">5.1 道路（緊急輸送道路）5.2 鉄道5.3 港湾5.4 空港	
<p>6. 生活支障被害</p> <ul style="list-style-type: none">6.1 避難者6.2 帰宅困難者6.3 物資不足量6.4 医療機能支障6.5 保健衛生、防疫、遺体処理等6.6 仮設住宅必要世帯（自力生活再建困難世帯）6.7 仮設トイレ不足量	
	<p>8. 経済被害（直接被害）</p>
	<p>9. 減災効果</p>
	<p>10. 被災シナリオ</p>

(4) 想定される最大被害の概要

①建物被害（陸側ケース、冬18時、強風）

全壊・焼失棟数：243,628棟

（揺れ：107,554棟、液状化：10,642棟、土砂災害：662棟、津波：27,413棟、
火災：97,357棟）

②人的被害（陸側ケース、冬深夜、強風）

死者数：16,032人

（揺れ：6,210人、土砂災害：53人、津波：8,184人、火災：1,585人）

③ライフライン被害（陸側ケース、冬18時、強風）

○上水道（発災直後）

断水人口：1,081,300人（断水率：約81.9%）

○下水道（発災直後）

支障人口：558,695人（支障率：約72.5%）

○電力（発災直後）

停電軒数：684,396戸（停電率：約84.9%）

④生活支障（陸側ケース、冬18時、強風）

○避難者（1カ月後）

避難者数：558,902人

（避難所避難者数：167,670人、避難所外避難者数：391,231人）

○帰宅困難者

帰宅困難者数：142,726人、居住ゾーン外への外出者数：135,387人

○物資不足量

食糧不足量：3,970,992食、飲料水不足量：7,805,3990、毛布不足量：514,090枚

⑤その他被害（陸側ケース、冬18時、強風）

○孤立の可能性のある集落

農業集落：242集落、漁業集落：26集落

⑥経済被害（陸側ケース、冬18時、強風）

施設等の直接被害：16.2兆円

（建物：11.13兆円、家庭用品等：2.83兆円、ライフライン：0.91兆円、
交通施設：0.58兆円、その他公共土木施設：0.33兆円、災害廃棄物処理：0.38兆円）

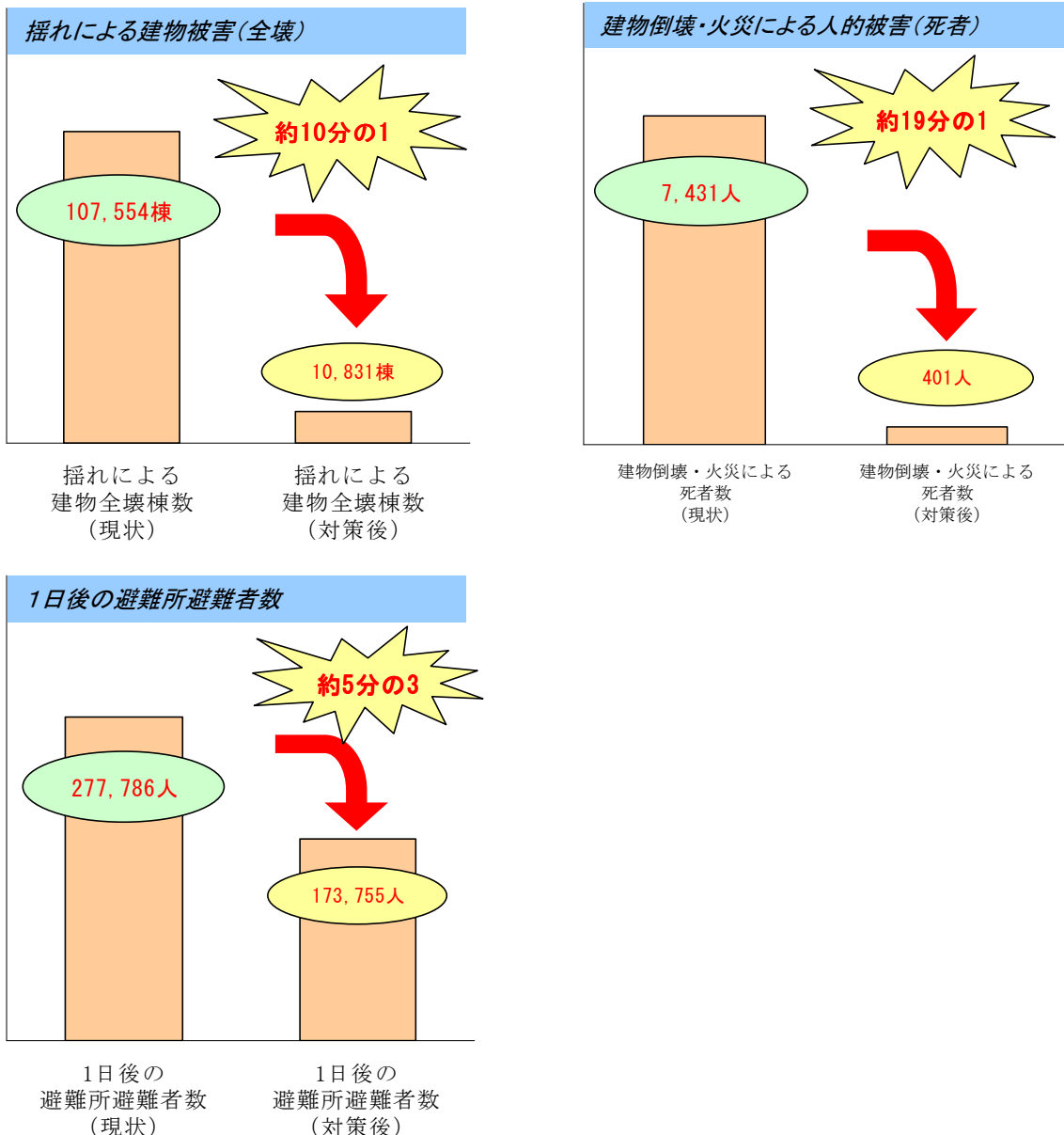
4. 防災対策の効果

(1) 建物の耐震性の強化

県内の住宅の耐震化率は、現状（平成 20 年度時点）で 71.4%となっている。旧耐震基準の建物の建て替えや耐震化により、全ての建物の耐震性が強化された場合には、建物の全壊棟数は**約 10 分の 1**に軽減できる。

さらに、住宅の耐震化を行えば、建物倒壊による火気器具・電熱器具からの出火を防ぐことができるほか、建物が倒壊して自力脱出が困難となることや、延焼拡大時に避難路を防ぎ避難を困難とすることも防ぐことができ、揺れ・火災による死者数は**約 19 分の 1**に軽減できる。

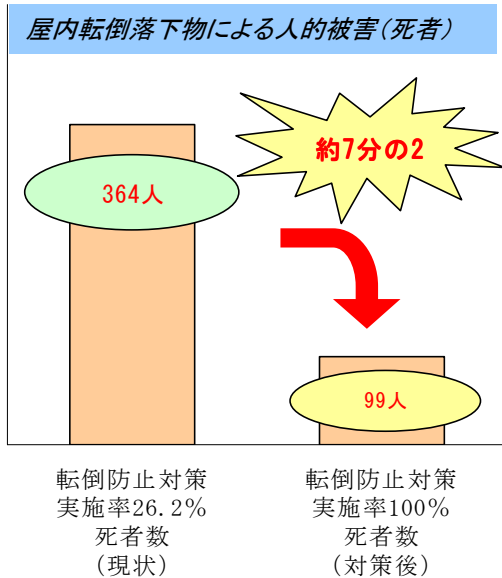
加えて、建物被害が減ることにより、地震後も自宅に留まることが可能となり、避難所における避難者も**約 5 分の 3**に軽減できる。



(2) 家具等の転倒・落下防止対策の強化

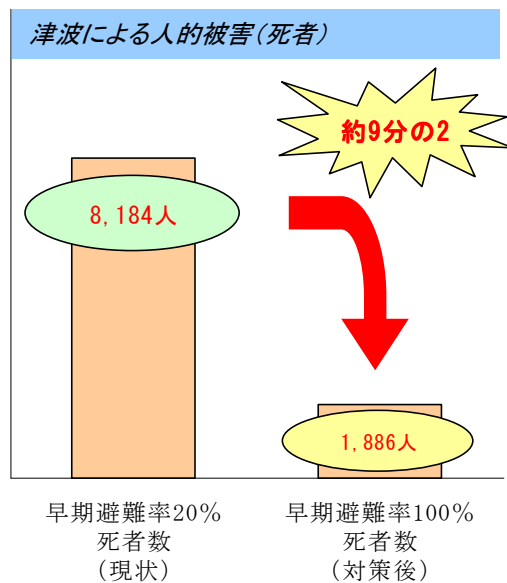
全国の家具等の転倒・落下防止対策実施率約 26.2%を基に被害を想定。

この実施率を 100%にすることで、死者数は**約7分の2**に軽減できる。さらに、屋外に迅速に避難することも可能となるので、津波から避難するためにも、家具等の転倒・落下防止対策を行うことが重要。



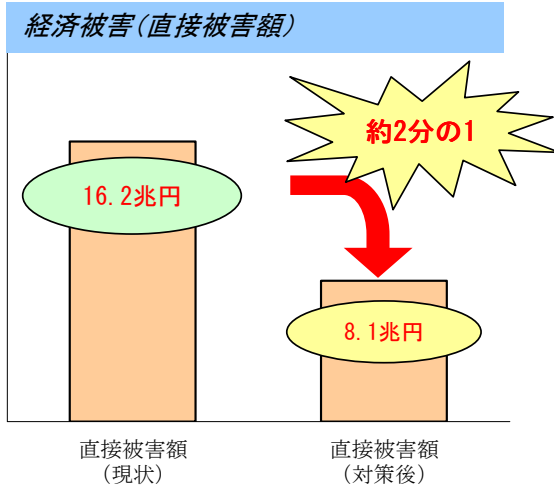
(3) 津波避難の迅速化

地震発生後、全員が迅速に避難すれば、20%の人が迅速に避難する場合と比較すると、死者数は**約9分の2**に軽減できる。

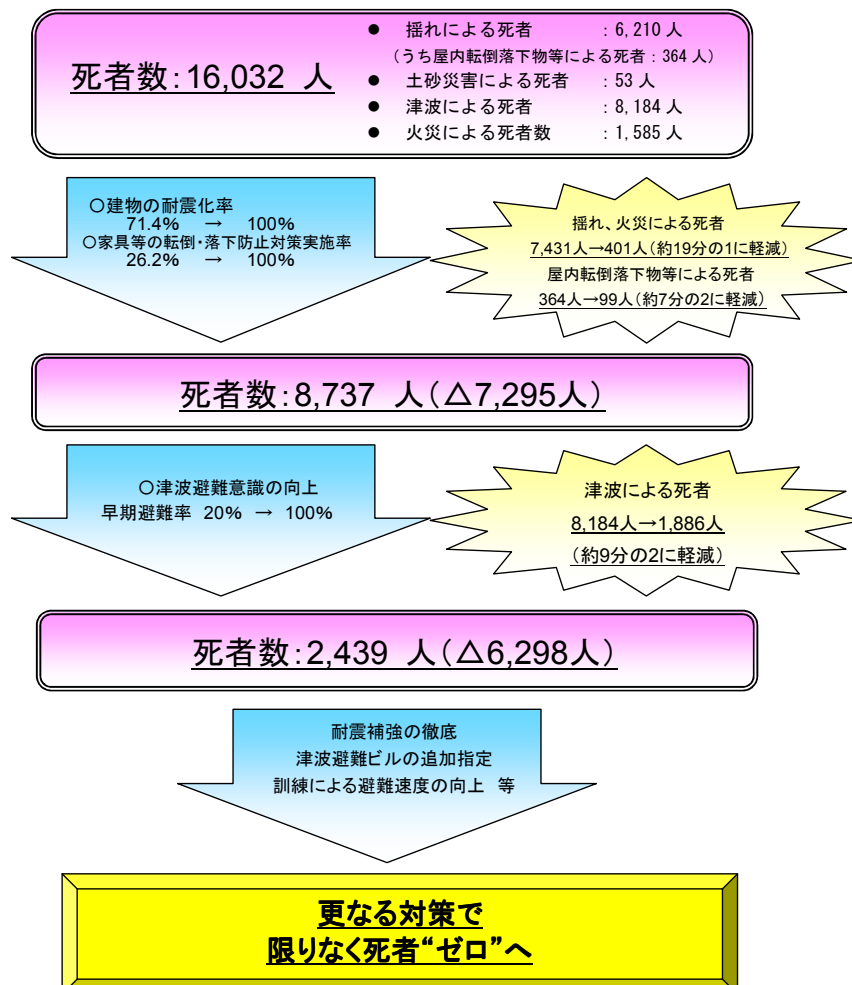


(4) 直接被害額の軽減

建物耐震化率を 100%とすれば、全壊棟数が大幅に軽減され、直接被害額も約 2 分の 1 に軽減できる。



(5) 建物耐震化、津波避難意識向上による被害軽減イメージ



5. 防災・減災の基本的な考え方と今後の方針

- 巨大地震が発生すれば、これまでに経験したことがない規模の被害を受けることとなるが、耐震化や早期避難等、対策を講じることによって被害は激減することを十分理解し、平時からしっかり備えることが必要である。
- 施設等や経済的な被害については、被害ゼロを目標にすることは現実的でなく、被害の拡大を少しでも抑えることができるよう各々が対応できることを見極め備えておくことが重要である。
- 今後、一連の被害想定結果を踏まえ、県と市町で構成する「広域防災・減災対策検討協議会」において、広域防災活動要領や人的被害等を軽減する減災プログラムの作成を検討するなど、被害想定 of 総合的な検証を行うことにより、県と市町が「チーム愛媛」として、より緊密な連携体制を構築し、南海トラフ巨大地震への備えを強化していく。

愛媛県地震被害想定調査最終報告結果一覧（南海トラフ巨大地震）

項目		今回の愛媛県想定 (H25.12)	国の想定 (H24.8,H25.3)	前回の愛媛県想定 (H14.3)	国との違い	
地震名		南海トラフ巨大地震 (陸側ケース)	南海トラフ巨大地震 (陸側ケース)	南海・東南海地震		
地震規模		M9.0	M9.0	M8.4		
想定シーン		人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬深夜 人的被害以外:冬18時	人的被害:冬2時 人的被害以外:冬18時		
風速		強風 (市町毎平均+2σ)	8m/s (全域)	5m/s (全域)		
建物全壊棟数	建物総数	916,685棟	812,544棟	730,137棟	【揺れ】 沿岸部や平野部の震度は高くなったが、 全体的には震度が低くなったため。 【液化化】 沿岸部や平野部の震度が高くなったため。 【津波】 浸水域が広がったため。 【火災】 手法の違い。建物が多い沿岸部で出火 点が多くなり延焼が拡大したため。	
	揺れ	107,554棟	117,000棟	74,291棟		
	液化化	10,642棟	7,400棟	2,202棟		
	土砂災害	662棟	400棟	—		
	津波	27,413棟	14,000棟	241棟		
	火災	97,357棟	53,000棟	98棟		
	合計	243,628棟	191,800棟	76,591棟		
屋外転倒・落下物	ブロック塀等	33,868箇所	—	21,131箇所		
	自動販売機	389箇所	—	—		
	屋外落下物	141,651件	—	—		
死者数	建物倒壊	6,210人	7,400人	2,919人	【全体】 建物の全壊棟数と同様の理由。	
	屋内収容物移動等	うち364人	うち400人	不明		
	土砂災害	53人	50人	65人		
	津波	8,184人	4,400人	2人		
	火災	1,585人	700人	0人		
	ブロック塀の倒壊等	0人 (冬18時:3人)	わずか (冬18時:20人)	1人		
	合計	16,032人	12,550人	2,987人		
負傷者数	建物倒壊	46,048人	47,000人	46,047人	【津波】 津波の負傷者は要避難者-死者数の算 定結果であるため、死者が多い分負傷 者は減少する傾向になる。	
	屋内収容物移動等	うち5,584人	うち8,100	不明		
	土砂災害	66人	60人	491人		
	津波	412人	800人	9人		
	火災	944人	700人	0人		
	ブロック塀の倒壊等	0人 (冬18時:111人)	30人 (冬18時:800人)	—		
	合計	47,470人	48,590人	46,547人		
揺れによる要救助者数	自力脱出困難者数	18,516人	22,000人	—		
津波被害に伴う要救助者・捜索者	要救助者	718人	700人	—	建物の全壊棟数と同様の理由。	
	要捜索者	8,596人	—	—		
上水道断水人口	給水人口	1,320,513人	1,300,000人	不明	【揺れによる影響が大きいことから、県全 体で見ると震度が下がっているため。 *母数の違い。	
	直後	1,081,300人	1,200,000人	—		
	断水人口	1日後	1,055,933人	1,300,000人		329,409世帯
	1週間後	907,477人	910,000人	—		
	1ヶ月後	392,624人	260,000人	—		
下水道支障人口	処理人口	770,090人	690,000人	515,362人		
	支障人口	直後	558,695人	620,000人		6,232人
	1日後	465,160人	570,000人	—		
	1週間後	176,300人	74,000人	—		
	1ヶ月後	16,781人	21,000人	—		
停電軒数	電灯軒数	806,261戸	800,000戸	757,341戸		
	停電軒数	直後	684,396戸	710,000戸		59,378戸
	1日後	383,730戸	650,000戸	—		
	2日後	274,321戸	83,000戸	—		
	1週間後	40,516戸	73,000戸	—		
固定電話不通回線数	回線数	1,036,900回線	380,000回線	—		
	不通回線数	直後	865,819回線	340,000回線		—
	1日後	785,706回線	310,000回線	—		
	1週間後	138,614回線	66,000回線	—		
	1ヶ月後	79,599回線	24,000回線	—		
携帯電話不通ランク	直後	—	わずか	—		
	1日後	—	非常につながりにくい	—		
	4日後	—	わずか	—		
	1週間後	—	わずか	—		
	1ヶ月後	—	—	—		
ガス供給停止戸数(都市ガス)	供給戸数	74,740戸	44,000戸	85,511戸		
	停止戸数	直後	71,677戸	40,000戸		9,419戸
	1日後	70,057戸	39,000戸	—		
	1週間後	60,337戸	27,000戸	—		
	1ヶ月後	26,068戸	わずか	—		

愛媛県地震被害想定調査最終報告結果一覧（南海トラフ巨大地震）

項目		今回の愛媛県想定 (H25.12)	国の想定 (H24.8,H25.3)	前回の愛媛県想定 (H14.3)	国との違い
ガス供給停止戸数(LPガス)	供給戸数	440,567戸	—	480,635戸	
	停止戸数	14,384戸	—	8,789戸	
	ガス漏洩	10,110戸	—	6,137戸	
道路施設被害箇所数 (緊急輸送道路)	道路総延長	1,723km	不明	1,612km	母数の違い(県は緊急輸送道路が対象)。
	津波浸水域	31箇所	230箇所	—	
	津波浸水域外	197箇所	1,500箇所	134箇所	
鉄道施設被害箇所数	線路総延長	323.8km	不明	327.8km	手法の違い。
	津波浸水域	5箇所	わずか	—	
	津波浸水域外	747箇所	850箇所	236箇所	
港湾施設被害箇所数	総係留施設数	933箇所	1,648箇所	—	・母数の違い(総係留施設数の違い)。 ・手法の違い。
	国際拠点港湾	—	—	—	
	重要港湾	306箇所	780箇所	—	
	地方港湾	221箇所	240箇所	—	
漁港被害箇所数	総係留施設数	2,049箇所	—	—	
	漁港(1種~4種)	1,008箇所	—	—	
避難者数(避難所内外)	1日後	436,750人	400,000人	522,297人	断水人口の復旧推移が影響。
	1週間後	466,888人	540,000人	590,692人	
	1ヶ月後	558,902人	530,000人	359,335人	
帰宅困難者	帰宅困難者数	142,726人	—	—	
	居住ゾーン外への外出者数	135,387人	—	—	
物資不足量	食糧不足量	3,970,992食	—	2,413,869食	
	給水不足量	7,805,399 L	—	不足なし	
	毛布不足量	514,090枚	—	—	
医療対応力不足数	入院	13,702人	—	11,888人	
	外来	19,936人	—	45,376人	
仮設住宅必要世帯数	自力再建困難者世帯数	60,013世帯	—	22,875世帯	
仮設トイレ不足量	1日後	916基	—	—	
	1週間後	917基	—	—	
	1ヶ月後	559基	—	—	
災害廃棄物発生量	災害廃棄物	1,734.1万t	1,700万t	—	浸水域が広がったため。
	津波堆積物	686.1万t	200万t	—	
エレベータ内閉じ込め	閉じ込め者数	894人	300人	—	母数の違い。
	台数	1,901台	800台	—	
災害時要援護者(避難所内)	1日後	62,984人	—	—	
	1週間後	62,704人	—	—	
	1ヶ月後	38,476人	—	—	
人工造成地による建物被害	全壊棟数	97棟	—	—	
文化財の被災可能性	揺れ	16施設	23施設	—	震度が下がった山間部に文化財が多く分布しているため。
	火災	4施設	4施設	—	
	津波	1施設	0施設	—	
孤立の可能性がある集落	農業集落	242集落	217集落	—	・母数の違い。 ・推計手法の違い。
	漁業集落	26集落	48集落	—	
ため池被害	危険度ランクA	657箇所	—	—	
	危険度ランクB	982箇所	—	—	
	危険度ランクC	961箇所	—	—	
漁業施設	漁船被害数	10,448隻	—	—	
	漁場被害面積	68.4km ²	—	—	
重要施設	使用可能	869施設	—	—	
	一部制限	1,014施設	—	—	
	支障有	1,024施設	—	—	
農地被害	液状化被害面積	172.6km ²	—	—	
	津波被害面積	36.6km ²	—	—	
経済被害額	直接被害額	16.2兆円	10.9兆円	—	全壊棟数の総数が増えたため。
	建物	11.13兆円	7.8兆円	—	
	家庭用品等	2.83兆円	1.6兆円	—	
	ライフライン	0.91兆円	0.15兆円	—	
	交通施設	0.58兆円	0.67兆円	—	
	その他公共土木施設	0.33兆円	0.3兆円	—	
	災害廃棄物処理	0.38兆円	0.4兆円	—	

南海トラフ巨大地震（陸側ケース）による市町別被害一覧

※風速：強風時（市町別に設定）

市町名	建物被害(全壊棟数) 冬18時						建物被害(半壊棟数) 冬18時				
	揺れ (棟数)	液状化 (棟数)	土砂災害 (棟数)	津波 (棟数)	地震火災 (焼失棟数) (棟数)	合計 (棟数)	揺れ (棟数)	液状化 (棟数)	土砂災害 (棟数)	津波 (棟数)	合計 (棟数)
松山市	8,037	2,496	41	72	25,112	35,759	18,375	3,911	96	3,593	25,974
今治市	5,764	1,843	32	480	978	9,096	18,249	3,298	75	5,203	26,824
宇和島市	14,132	714	78	9,111	8,438	32,473	8,549	525	182	986	10,242
八幡浜市	3,891	181	111	5,102	2,832	12,117	4,207	67	260	347	4,880
新居浜市	14,795	1,130	14	706	18,524	35,169	10,367	1,216	32	1,250	12,864
西条市	14,574	1,466	12	3,890	13,191	33,132	11,832	1,866	29	3,814	17,541
大洲市	6,710	330	92	59	2,128	9,319	9,315	505	214	390	10,425
伊予市	1,559	297	43	100	4,877	6,875	3,814	362	99	375	4,651
四国中央市	14,945	1,046	17	66	10,213	26,288	9,329	1,187	40	459	11,014
西予市	10,342	166	24	2,961	3,226	16,719	9,920	120	56	286	10,382
東温市	2,092	119	10	0	2,065	4,286	4,179	188	24	0	4,391
上島町	997	83	2	22	560	1,663	1,908	140	4	213	2,266
久万高原町	1,007	26	39	0	10	1,082	3,671	48	92	0	3,811
松前町	3,055	357	0	114	4,719	8,245	2,482	465	0	419	3,365
砥部町	246	16	19	0	4	285	1,496	30	45	0	1,570
内子町	1,333	65	37	0	438	1,873	3,994	107	86	0	4,187
伊方町	99	96	55	1,664	2	1,916	604	77	129	388	1,199
松野町	883	23	8	0	10	924	1,598	42	18	0	1,659
鬼北町	2,847	66	11	0	26	2,950	3,783	123	25	0	3,930
愛南町	247	123	16	3,067	5	3,457	1,103	107	37	470	1,717
県計	107,554	10,642	662	27,413	97,357	243,628	128,773	14,382	1,544	18,193	162,891

南海トラフ巨大地震（陸側ケース）による市町別被害一覧

※風速：強風時（市町別に設定）

市町名	人的被害(死者数) 冬深夜							人的被害(負傷者数) 冬深夜							人的被害 (自力脱出困難者・要救助者) 冬深夜	
	建物倒壊		土砂災害 (人)	津波 (人)	火災 (人)	ブロック塀 倒壊等 (人)	合計 (人)	建物倒壊		土砂災害 (人)	津波 (人)	火災 (人)	ブロック塀 倒壊等 (人)	合計 (人)	揺れに伴う自 力脱出困難者 (人)	津波による 要救助者 (人)
	(人)	うち屋内 収容物等 (人)						(人)	うち屋内 収容物等 (人)							
松山市	482	61	4	184	45	0	715	5,464	966	5	78	161	0	5,707	2,745	35
今治市	351	19	3	284	3	0	641	4,601	309	3	50	7	0	4,662	948	10
宇和島市	825	41	6	1,444	293	0	2,568	4,425	609	8	29	129	0	4,591	2,169	208
八幡浜市	233	10	9	504	23	0	770	1,614	151	11	21	16	0	1,662	598	18
新居浜市	850	57	1	455	536	0	1,841	4,769	840	1	33	258	0	5,061	2,901	45
西条市	826	47	1	2,592	230	0	3,648	5,179	700	1	82	121	0	5,383	2,373	49
大洲市	390	16	7	47	40	0	484	3,023	250	9	3	23	0	3,058	879	10
伊予市	86	5	4	432	30	0	552	1,077	80	5	19	55	0	1,155	247	2
四国中央市	756	50	1	26	260	0	1,043	4,696	818	2	13	122	0	4,833	2,655	7
西予市	635	22	2	634	80	0	1,351	3,887	319	2	27	26	0	3,943	1,138	74
東温市	125	8	1	0	0	0	126	1,276	126	1	0	0	0	1,277	428	0
上島町	61	2	0	86	0	0	147	572	31	0	7	0	0	579	114	1
久万高原町	65	1	3	0	0	0	68	876	24	4	0	0	0	879	83	0
松前町	178	12	0	35	45	0	258	1,114	174	0	13	25	0	1,152	625	37
砥部町	15	1	2	0	0	0	16	320	23	2	0	0	0	322	57	0
内子町	81	3	3	0	0	0	84	1,010	43	4	0	0	0	1,014	142	0
伊方町	6	0	4	212	0	0	222	137	8	6	15	0	0	158	11	27
松野町	55	1	1	0	0	0	55	478	22	1	0	0	0	479	81	0
鬼北町	175	5	1	0	0	0	176	1,265	71	1	0	0	0	1,267	284	0
愛南町	15	1	1	1,249	0	0	1,265	264	21	2	24	0	0	290	37	195
県計	6,210	364	53	8,184	1,585	0 (冬18時:3)	16,032	46,048	5,584	66	412	944	0 (冬18時:111)	47,470	18,516	718

南海トラフ巨大地震（陸側ケース）による市町別被害一覧

※風速：強風時（市町別に設定）

市町名	ライフライン被害(直後) 冬18時												交通施設			
	上水道		下水道		電力		通信(固定電話)		都市ガス		LPガス		道路	鉄道	港湾	
	断水人口 (人)	断水率 (%)	支障人口 (人)	支障率 (%)	停電軒数 (軒)	停電率 (%)	不通 回線数 (回線)	不通 回線率 (%)	供給停止 戸数 (戸)	供給停止率 (%)	容器転倒 戸数 (戸)	ガス漏洩 戸数 (戸)	被害箇所数 (浸水域内外) (箇所)	被害箇所数 (浸水域内外) (箇所)	港湾 (箇所)	漁港 (箇所)
松山市	288,134	58.9%	174,982	56.4%	198,243	70.2%	263,133	71.8%	49,900	100.0%	4,304	3,019	17	104	57	36
今治市	156,320	95.0%	56,221	48.1%	79,850	74.7%	99,922	74.5%	13,637	81.7%	1,191	830	16	69	91	75
宇和島市	85,079	99.9%	18,346	96.9%	48,977	98.2%	57,510	85.1%	8,100	100.0%	870	613	23	80	48	419
八幡浜市	37,317	99.8%	27,411	99.4%	24,560	99.4%	24,784	83.7%	0	-	417	291	7	30	24	58
新居浜市	117,497	99.9%	72,490	98.2%	62,782	100.0%	97,974	99.1%	0	-	1,660	1,176	9	39	61	31
西条市	55,957	99.8%	63,845	99.8%	59,329	99.8%	41,317	95.3%	0	-	1,365	963	23	64	53	5
大洲市	42,178	99.6%	6,378	93.0%	28,365	99.8%	52,930	99.7%	0	-	573	402	15	88	20	17
伊予市	28,173	80.0%	15,284	74.2%	18,033	92.2%	27,697	92.1%	0	-	307	214	9	83	11	18
四国中央市	89,930	99.9%	52,109	96.8%	47,367	100.0%	67,534	99.9%	0	-	1,250	887	31	70	102	29
西予市	39,213	100.0%	16,096	95.2%	26,647	100.0%	25,733	93.9%	0	-	556	393	26	31	7	101
東温市	31,873	97.7%	19,511	88.7%	16,766	98.7%	27,869	98.7%	0	-	413	292	7	12	0	0
上島町	7,082	99.4%	6,767	95.2%	5,663	99.9%	3,927	99.6%	0	-	111	78	0	0	26	56
久万高原町	6,618	87.5%	4,955	92.4%	6,252	99.9%	10,450	99.9%	0	-	123	86	11	0	0	0
松前町	30,524	100.0%	7,551	92.9%	15,840	100.0%	21,774	99.4%	40	100.0%	376	267	1	21	9	0
砥部町	17,969	86.3%	2,718	89.0%	11,546	99.6%	9,363	99.6%	0	-	171	117	3	0	0	0
内子町	12,374	80.3%	4,747	92.6%	10,373	100.0%	9,600	100.0%	0	-	182	126	8	24	0	0
伊方町	4,363	40.1%	4,870	100.0%	2,679	35.2%	2,065	23.3%	0	-	119	82	3	0	16	57
松野町	4,324	99.8%	0	-	2,558	99.9%	3,147	99.9%	0	-	63	45	1	24	0	0
鬼北町	10,908	97.5%	2,404	93.0%	7,024	99.9%	11,533	99.9%	0	-	162	114	5	13	0	0
愛南町	15,464	65.9%	2,011	81.5%	11,541	80.1%	7,556	65.8%	0	-	168	116	12	0	3	106
県計	1,081,300	81.9%	558,695	72.5%	684,396	84.9%	865,819	83.5%	71,677	95.9%	14,384	10,110	228	752	527	1,008

南海トラフ巨大地震（陸側ケース）による市町別被害一覧

※風速：強風時（市町別に設定）

市町名	生活支障 冬18時																	
	避難者						帰宅困難者		物資不足量				医療機能支障		仮設住宅 必要世帯数	仮設トイレ不足量		
	避難者計 (1日後)	避難所	避難者計 (1週間後)	避難所	避難者計 (1ヶ月後)	避難所	帰宅困難者	居住ゾーン外 への外出者	(1～3日後)		(4～7日後)		入院	外来	自力再建 困難者世帯数	1日後	1週間後	1ヶ月後
									食糧	飲料水	食糧	飲料水						
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(食)	(リットル)	(食)	(リットル)	(人)	(人)	(世帯数)	(基)	(基)	(基)	
松山市	89,002	56,647	85,628	46,212	60,518	18,156	36,310	25,273	394,561	816,010	728,066	1,406,339	1,278	0	17,065	189	154	61
今治市	40,306	26,156	44,630	25,637	44,963	13,489	17,899	15,769	185,133	774,486	372,286	1,486,173	682	82	1,929	87	85	45
宇和島市	52,588	34,113	47,089	33,430	63,935	19,180	7,714	6,178	254,224	14,608	485,491	332,765	1,807	2,327	6,442	114	111	64
八幡浜市	19,833	12,889	19,676	13,730	28,671	8,601	4,679	4,131	93,541	124,525	192,668	301,150	554	839	2,368	43	46	29
新居浜市	54,753	34,523	58,428	34,109	81,348	24,404	6,938	6,381	257,657	529,365	493,652	1,126,025	1,989	2,373	9,031	115	114	81
西条市	54,448	34,734	54,757	34,228	76,145	22,844	15,737	16,842	259,664	225,157	495,917	497,704	1,950	2,839	6,881	116	114	76
大洲市	12,111	7,389	19,421	10,029	28,438	8,531	5,683	4,394	49,614	218,675	128,573	445,112	758	1,842	1,552	25	33	28
伊予市	12,486	7,900	12,977	7,332	12,234	3,670	5,542	8,793	57,592	129,577	108,990	237,806	223	617	1,241	26	24	12
四国中央市	31,999	19,559	43,554	22,828	60,249	18,075	13,234	10,562	147,406	176,702	309,110	560,937	1,691	2,431	5,850	65	76	60
西予市	19,739	12,326	23,715	14,180	30,756	9,227	2,564	3,905	89,211	199,959	193,063	417,615	1,107	2,242	2,352	41	47	31
東温市	5,199	3,119	11,876	5,938	16,251	4,875	8,424	8,622	21,899	118,360	68,598	276,219	305	636	1,060	0	20	16
上島町	2,932	1,848	3,365	1,916	4,802	1,440	813	333	10,318	36,625	27,183	75,037	113	419	292	6	6	5
久万高原町	1,401	841	2,652	1,326	2,571	771	829	518	5,669	0	16,180	0	105	631	132	3	4	3
松前町	18,206	11,783	14,271	9,514	20,216	6,065	5,152	8,117	88,128	181,400	150,615	352,195	377	679	2,047	39	32	20
砥部町	671	403	4,379	2,190	4,085	1,226	3,263	6,297	3,370	1,358	20,811	46,651	23	159	81	1	7	4
内子町	2,339	1,403	4,762	2,381	4,403	1,321	1,822	2,807	11,020	28,271	28,420	70,596	133	649	243	5	8	4
伊方町	4,091	2,710	2,658	2,104	3,215	964	1,149	824	0	0	26,406	0	39	0	300	9	7	3
松野町	1,071	642	1,882	941	2,755	826	267	787	4,684	27,005	11,760	51,463	82	293	103	2	3	3
鬼北町	3,335	2,001	5,191	2,595	6,319	1,896	1,112	1,622	14,477	0	33,808	16,163	301	792	375	7	9	6
愛南町	10,239	6,798	5,976	4,596	7,028	2,108	3,594	3,233	39,238	55,595	79,395	105,446	183	87	667	23	15	7
県計	436,750	277,786	466,888	275,215	558,902	167,670	142,726	135,387	1,987,404	3,657,677	3,970,992	7,805,399	13,702	19,936	60,013	916	917	559

南海トラフ巨大地震（陸側ケース）による市町別被害一覧

※風速：強風時（市町別に設定）

市町名	その他被害 冬18時																		経済被害 (直接被害) 冬18時 (兆円)
	災害廃棄物		災害時 要援護者 (人)	文化財の被害			孤立集落		ため池被害						漁業施設被害		農地被害		
	災害廃棄物 (万トン)	津波堆積物 (万トン)		揺れ (施設)	火災 (施設)	津波 (施設)	農業 集落 (集落)	漁業 集落 (集落)	危険度ランクA		危険度ランクB		危険度ランクC		漁場 被害面積 (㎡)	漁船 被害数 (隻)	液状化 被害面積 (㎡)	津波浸水 被害面積 (㎡)	
									危険 箇所数 (箇所)	保全 世帯数 (世帯)	危険 箇所数 (箇所)	保全 世帯数 (世帯)	危険 箇所数 (箇所)	保全 世帯数 (世帯)					
松山市	220	60	11,034	1	1	0	4	0	65	17,830	254	15,327	271	8,947	316,756	1,075	16,494,483	1,411,765	—
今治市	71	80	6,187	5	0	1	2	1	122	2,066	196	3,001	378	4,046	564,296	850	27,734,286	2,513,769	—
宇和島市	248	93	8,735	1	0	0	28	3	92	1,411	65	246	13	25	33,751,267	4,224	12,781,602	3,306,203	—
八幡浜市	96	27	3,052	1	0	0	0	0	0	0	7	68	11	0	1,285,832	447	263,803	490,289	—
新居浜市	235	55	8,428	0	0	0	4	0	20	259	17	183	13	117	4,936,281	0	3,296,642	1,403,224	—
西条市	236	195	7,701	0	0	0	10	0	68	1,914	56	633	31	288	4,318,236	377	58,058,419	20,065,914	—
大洲市	69	5	1,645	4	1	0	7	0	6	108	52	53	26	34	0	119	10,483,857	2,085	—
伊予市	43	16	1,577	0	0	0	10	4	50	5,057	60	8,018	32	753	0	136	6,948,299	343,592	—
四国中央市	194	35	4,142	1	1	0	23	0	41	2,601	9	407	2	15	1,363,257	143	10,845,836	3,063,152	—
西予市	126	20	3,225	1	1	0	87	14	108	815	103	636	24	231	2,913,855	864	391,875	688,704	—
東温市	29	0	641	1	0	0	14	0	19	2,314	36	5,226	40	2,277	0	0	1,940,208	0	—
上島町	12	7	585	0	0	0	0	0	6	75	4	250	13	91	472,815	12	1,558,837	376,434	—
久万高原町	8	0	265	1	0	0	27	0	1	29	4	99	12	72	0	0	197,368	0	—
松前町	54	28	2,218	0	0	0	0	0	2	36	0	0	0	0	0	70	10,519,282	1,530,718	—
砥部町	2	0	72	0	0	0	0	0	2	330	22	1,441	20	328	0	0	236,949	0	—
内子町	14	0	327	0	0	0	0	0	2	74	19	257	20	269	0	0	1,321,626	0	—
伊方町	18	18	799	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	798,673	833	320,062	269,616	—
松野町	7	0	177	0	0	0	14	0	18	23	12	11	10	30	0	0	793,290	0	—
鬼北町	23	0	549	0	0	0	11	0	26	229	49	162	18	54	0	0	3,831,142	0	—
愛南町	31	44	1,626	0	0	0	1	4	9	92	17	104	26	149	17,640,370	1,297	4,600,151	1,094,789	—
県計	1,734	686	62,984	16	4	1	242	26	657	35,263	982	36,122	961	17,726	68,361,640	10,448	172,618,017	36,560,254	16.2